

第83回 上海博楚簡研究会のご案内

※ 本研究会は、平成28年度JSPS科研費 26284010助成「Multi Disciplinary Approachによる新出土資料の総合的研究」（基盤研究（B））「出土資料と漢字文化研究会」との共催です。

清華簡『楚居』に関する試論

発表者 柏倉優一氏（東京大学大学院修士課程）

第83回目を迎えた今回の研究会は、柏倉優一氏（東京大学大学院修士課程）が担当し、最新の情報を盛り込んだ発表をいたします。

つきましてはご多忙中恐れ入りますが、下記の要領で開催いたしますので、ご関心をお持ちの方々多数お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

【柏倉氏発表要旨】

清華簡『楚居』には伝説的祖先・季連から戦国前期の悼王に至る楚君主の「處」「居」や「稷」（従来、「徙」と釈されてきた字）などが記されています。従来『楚居』に見えるこれらの語で表される楚王の行動については詳しく研究されてきませんでした。これらに対して分析を加えることで、楚王に関する新たな一側面を浮き彫りにし、『楚居』の歴史的意義を明らかにします。

日時：2017年1月28日（土）午後2時～午後5時

場所：日本女子大学目白キャンパス百年館8階815会議室

- 使用言語 日本語
- 『清華大学蔵戦国竹簡』（壹）の写真図版や釈文のコピーなどは、各自ご用意下さい。
- 参加費 無料
- 研究会終了後、懇親会あり。

連絡先：東京都練馬区中村南1-12-5

東京大学名誉教授 池田知久 電話：03-3926-8568